

令和元年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input checked="" type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	伝統衣装の色／柄／素材のキャラクターゼーションと客観的記述法
報告者氏名・所属・職名	浅野 千恵・札幌校・教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	佐々木 貴子・札幌校・教授 百瀬 響・札幌校・教授 岡嶋 克典・横浜国立大学・教授 浅野 晃・関西大学・教授 川澄 未来子・名城大学・准教授
研究内容及び成果の概要	
<p>被服学分野の研究においては、人間の感性に左右される要素が多い。そのため、衣装の特徴に関する記述内容は観察者の主観の多い断片的な捉え方であると批判されることも多い。しかし、その特徴が「多くの人間の感性に影響を与及ぼしている要素」が数量的に分析され、全体的な傾向として捉えられ、記述されているのであれば、主観的と批判されやすい分野の研究においても客観的根拠として示すことができる。また、そのような研究における結論の導き方や用いられた研究手法の系統化は、人間の感性が関わってくる多くの研究分野に応用可能な研究とすることができる。本研究は、被服学分野を含め、多くの類似する研究が行われている分野や領域における問題点を解決するための1提案として意義があると考え、類似する研究テーマにおいても研究手法の検証を行いながら、プロジェクトの中心にしている題材の客観的記述方法の探索を多角的視点から継続的に行っている。</p> <p>昨年度に至るまで、日本各地、さらには世界各地の様々な伝統衣装について、デザインの基本である色/柄を含む形状/素材の観点から数量的な分析を行うことによって特徴づけ、これまで比較文化学的立場から言及されている研究に、客観的裏付けとなるような数量的分析に基づく根拠を示すことを目的としてきた。</p> <p>①Regional Characteristics on Preferences of Ceremonial Red Color in Japan -Comparison between the West and the East- (共著) 2018/12 ②女性の伝統的礼装に用いられる赤系色彩に対する嗜好傾向の地域差について～沖縄と広島と比較～ (単著) 2018/03 ③Regional characteristics on preferences of ceremonial red color in Japan (共著) 2014/09</p> <p>このような研究を行うに当たっては、様々な繊維系素材に対する材料特性の計測分析や、色柄等に対する数量的分析が必要である。繊維系素材の材料特性の計測分析は、これまで被服材料学の分野で確立されてきた手法があるか、それらのデータと人間の感性がどのように結びつけられるのかといった問題は、使用目的の限られた範囲内の素材を比較する研究テーマが主流であった。そのため、各地の伝統衣装といった、含まれる素材の範囲が幅広く、さらに感性の比較となる人間・対象者の範囲も広い研究においては、まず、様々な関連研究によって土台となる知見を広げていかなければならない。</p> <p>そこで昨年度は、多くの関連学問領域を含む研究テーマに対して、研究協力者との連携はかりながら数量的意味づけを行う研究を多角的に実施し、プロジェクトの中心となる被服学における伝統衣装の「色・柄・素材」の問題点を解決するための手法を探索した。</p>	
成果の公表の状況	
<p>(1) A. Asano, Y. Yoshii, and C. Muraki Asano, Relationship between observers' interests to color s and the precision of color categorization, Proc. 5th Asia Color Association Conference (ACA2019), 154～157</p> <p>(2) 浅野 晃、浅野（村木） 千恵、藤本 尊子、画像処理による繊維材料のしわ特性の分析-形状抽出の自動化、第15回日本感性工学会春季大会、2020/3</p> <p>(3) 大場 友貴、浅野（村木）千恵、佐々木 貴子、子供の発達段階と色彩感覚に関する研究、日本感性工学会北海道支部、日本感性工学会 あいまいと感性研究部会・感性インタラクション研究部会（感性フォーラム札幌2020）、2020/02</p>	

教育現場で活用可能な分野・教材等

本研究による結果や知見は、衣生活領域のみならず、家庭科全般において躊躇われていた内容についても、明確な根拠を背景にした役立つ知識として教育現場に導入することができるようになることを期待する。

配布又はダウンロード可能な資料

問合わせ先

代表者： 浅野千恵
電 話： 011-778-0421
FAX :
mail : asano.chie@s.hokkyodai.ac.jp